

第31回滋賀県サッカー選手権大会
(兼 天皇杯 JFA 第106回全日本サッカー選手権大会滋賀県代表決定戦)
大会要項

1. 期 日 2026年4月26日(日)・5月10日(日)・8月1日(土) 予備日8月2日(日)
2. 会 場 ビッグレイク C・B 皇子山総合運動公園陸上競技場
3. 主 催 公益社団法人 滋賀県サッカー協会
4. 共 催 京都新聞、共同通信社
5. 協 力 株式会社モルテン
6. 参加資格 公益財団法人日本サッカー協会1種・2種登録選手であること。
7. 参加料 40,000円

8. 競技会規定

- (1) エントリーについては最大35名まで可能とし、締め切りは**4月10日(金)**までとする。ただし35名に満たない場合は、各チームの初戦までにエントリー追加を認める。また最大5名までのエントリー変更を認める。さらに、8月1日に出場が決定した両チームの再エントリーを認め、再エントリーの締め切りは7月17日(金)までとする。
- (2) ベンチに入ることのできる人数は15名(交代要員9名・役員6名)とし、メンバー提出用紙にて特定されなければならない。
- (3) テクニカルエリアを設置し、特定された者の中から、その都度1名の者のみ戦術的指示を与えることができる。この1名の者は特定の1人に限定される必要はない。また、必要な場合は通訳の同行が認められる。
- (4) 交代は、登録した最大9名の交代要員の中から、5名までの交代が認められる。
なお、交代回数はハーフタイムを除き3回とする。延長戦になった場合は、さらに1名の交代が認められる。
脳震盪による交代は、別途定め、MCM時に各チームと確認する。
- (5) 本大会中に、累積2回の警告を受けた選手は次の1試合に出場できない。
- (6) 本大会中、退場を命じられた選手および役員の処置については、大会規律委員会で決定する。
- (7) 本大会優勝チームの本大会決勝戦での退場による出場停止処分は、天皇杯 JFA 第106回全日本サッカー選手権大会の初戦で消化するものとする。
- (8) 本大会は第4の審判員を任命し、アディショナルタイムを表示する。
- (9) 試合球は、株式会社モルテン「ヴァンタッジオ 4900 芝用」(品番:F5N4900)を使用する。
- (10) 選手の用具
 - ・本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ、及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - ・正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ・主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ・前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームから、シャツ、ショーツ、及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

- ・ソックスにテープまたはその他の素材のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- ・アンダーシャツ・アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色ものを着用する。

(11) 上記に定めていない事項については、公益財団法人日本サッカー協会サッカー競技規則 2025/2026 および天皇杯 JFA 第 106 回全日本サッカー選手権大会の開催規程に準ずる。

9. 競技方法

- (1) 本大会の試合時間は90分（45分—15分—45分）とする。勝敗が決しない場合、30分（15分—15分）の延長戦を実施し、なお決しない場合はPK方式により決定する。延長戦に入るまでのインターバルは5分、PK方式に入るまでのインターバルは1分とする。
- (2) 競技開始70分前に両チーム監督、審判団、マッチコミッショナーによるマッチコーディネーションミーティングを行う。その際、ユニフォームを持参すること。
- (3) 天候等による試合の勝者決定
 - ① 試合開始後、雷などの為に試合を中断し再開出来なかった場合は、後日に試合を同じ状態で再開する。
 - ② 後日開催で、試合終了前に天候による事情で試合が再開できない場合で、代替え日程が確保できない場合は、その時点で得点が多いチームを勝者とする。尚 同点時は、抽選を行う
 - ③ 試合の再開等の判断は、「FA CUP 実行委員会」で決定する
- (4) 試合は、7球のマルチボールシステムを採用する。

10. 各種大会への出場権利

本大会の優勝チームは、天皇杯 JFA 第 106 回全日本サッカー選手権大会の滋賀県代表とする。